



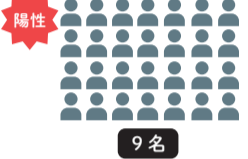
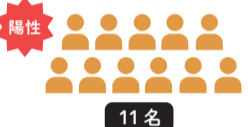









# 拠点 E における陽性者対応の経過

日付	病日	感染者		対応		職員の状況
		居住系施設利用者	職員	事業所	外部	
2020年 10月27日	1日目			<ul style="list-style-type: none"> <li>濃厚接触者の洗い出し</li> <li>濃厚接触者が14日間の出勤停止と想定した場合の必要職員数を算出</li> <li>隔離対応に必要な備品在庫の確認を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員 A の検査実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人本部で危機対策本部を設置し、事業所とオンライン会議を実施</li> <li>危機管理対策本部はシステムから施設内の利用者状況を確認し、早急に現場支援が必要と判断</li> </ul>
10月28日	2日目			<ul style="list-style-type: none"> <li>職員へ情報共有、入居者家族へ連絡</li> <li>保健所の最初の来所</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職2人（外部対応や運営を支援）、看護師1人（感染対応と入居者対応を支援）の計3人が応援に入る</li> </ul>
10月29日	3日目					<ul style="list-style-type: none"> <li>職員も全員が濃厚接触者として自宅待機となる</li> </ul>
10月30日	4日目				<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉 DMAT として医師が介入</li> <li>埼玉県コロナ対策チーム COVMAT として県庁感染対策班、埼玉医科大学の感染症専門医、感染管理認定看護師が介入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から深夜まで搬送対応が続く</li> </ul>
10月31日	5日目					
11月1日	6日目					
11月2日	7日目					
11月5日	10日目					
11月8日	13日目					
11月10日	15日目					
11月17日	22日目					<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の復帰に向けてオリエンテーションを開催</li> <li>ホーム長、副ホーム長と個別に面談も実施</li> </ul>
11月18日	23日目					<ul style="list-style-type: none"> <li>同上</li> </ul>
11月20日	25日目			<ul style="list-style-type: none"> <li>最終の陽性者判明から2週間経過し収束</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>再出発式を開催</li> </ul>

本資料は令和2年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業分）「新型コロナウイルス感染症影響下における介護サービス事業所や自治体の取組に関する調査研究事業」の一環として一般社団法人 人とまちづくり研究所が作成したものです。